



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。各保育・教育現場では、修了式や卒業式、進級などの節目にあたり、子どもたちの心の発達などに注意をはらいながら丁寧に活動を進めています。

新年度に向けた準備もありますが、この一年間の地域の方々の関わりに感謝申し上げますとともに、子どもたちの成長を支えていただくため引き続きご尽力を賜ることをご期待しているところです。

今月号においても地域の方々と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

高校生の皆さんありがとう！

清水高校で大切に育てた花をいただきました。

とてもきれいに咲いており、子どもたちも「きれい〜」「かわいい〜」と大喜び♪一足早く春の訪れを感じることができました。



1年を通して、清水高校の皆さんに沢山お世話になりました。園の畑で芋植えを手伝ってくれたり、芋掘り、焼き芋をさせてもらったり…してもらうことばかりでしたが、子どもたちは高校生と一緒に経験することで、目をキラキラさせながら、沢山のことを学んでいました。

普段、年長児はこども園では最上級生として頑張っていますが、高校生との交流の時には思いっきり甘えられる時間を満喫していました。

清水高校の皆さんを始め、地域の方から沢山の愛をいただいて、一回り大きくなった年長児さん。春からは小学生！楽しかった思い出を胸に小学校でも頑張ります！（小学校の皆さんよろしくお願いいたします。）



御影こども園

御影小学校の図書室訪問

小学校入学を控えた年長児が、御影小学校の図書室を訪問させていただきました。

たくさんの本を目の前に目をキラキラと輝かせていた子どもたち✧ いろいろな本に興味をもって見ていました♪

小学校の先生方も来てくださり、子どもたちと

お話をしてい

ただけたことで、もうすぐ小学生になるんだ！と実感が沸いた子どもたちです。

お気に入りの絵本もたくさん見付け、小学校に入学することが更に楽しみになりました。

快く受け入れてくださった小学校の先生方ありがとうございました。



清水小学校

万が一の災害に備えて、しっかり学びました。

2月6日と12日の2日間日程で、3～6年生を対象にした防災教室を開催

しました。

2月6日は、5、6年生、各1時間ずつ授業を行いました。講師に清水町役場防災担当の宇都宮主幹をお招きし、両学年とも清水町の災害や今までの大規模災害の様子について説明を聞き、そのあと、5年生は段ボールベッドの



組み立て、6年生は避難テントの設置と体験活動を変えながら、避難生活に必要なものに実際に触れながら確認していました。

2月12日は、3、4年生合同で行いました。講師にネイパル足寄の齊藤さん、中田さんをお招きし、「自助・共助・公助」について理解を深めたり、「洪水が起きて水の中を歩くときに適した靴は何？」等のクイズを交えな

がら、災害、避難方法について理解を深めたりしました。さらにそのあと、災害の時にホイッスルの音が、人の注意を引く上でとても重宝する道具であることを学び、牛乳パックのホイッスル作りに取り組みました。

災害はいつ起きるかわからない世の中だからこそ、災害が起きた時の対処法を普段から考えたり体験したりすることは、とても重要な学びだと思います。

清水小学校では、今後も防災教育を継続して実施していきたいと思っています。



御影小学校

十勝若牛調理体験学習

3月14日「株式会社おもて」「JA 十勝清水畜産部」「十勝フードサービ

ス」様のご協力により、十勝若牛調理体験学習を行いました。

地元ブランド牛「十勝若牛」について、JA 十勝清水畜産部若原部長や株式会社おもて社長表裕一郎さんより JA 十勝清水町の概要や十勝若牛の特徴、ブランド化に至るまでの経緯や牛肉サミットで優勝したことなどをご講義いただきました。



その後、十勝若牛サーロインのブロック肉約6kgから一人200gのステーキ肉にカットする体験をさせていただきました。塊肉からお手本で十勝フードサービス寺原工場長がカットしてくださった、約200gのステーキ肉の重さの感覚を頼りに、一人一人切り分けていきました。なかなか200gにするのは難しかったようで、300gを越えてしまう児童もいました。一番近い児童で誤差2g。これには寺原工場長も驚いていました。



ステーキ肉にカットできたところでいよいよ調理。表社長に焼き方をレクチャーしていただき、寺原工場長には焼き加減（レア・ミディア

ム・ウエルダン）なども教えていただきました。熱したフライパンにブロック肉から削ぎ取った脂身を入れ、フライパンに脂身を馴染ませてから、ステーキを焼いていきました。子どもたちは真剣に、そして友だちと協力しながら一枚一枚丁寧に焼き上げていきました。

ステーキソースもご提供いただき、焼き上がったステーキにかけ試食。あまりの美味しさに子どもたちはとても喜んでいました。



本校では、清水町のことを講義や体験活動などによって知る「十勝清水学」に、地域の皆様のご協力により取り組んでいます。

今年度もおよそ30近い体験学習に地域の皆様により取り組むことができました。この場を借りて今年度の取組にご協力いただきました地域の皆様に心よ

り感謝いたします。ありがとうございました。

清水中学校

1 学年 家庭科 調理実習 清水産米使用 3月4日～5日

1 学年家庭科で、清水町御影でお米を作っている 澤山 あずさ 氏を外部講師にお迎えし、調理実習の授業を行いました。

お米は無償で提供していただき、清水産のお米（陸穂）についてお話をしていただきました。

生徒は、清水町で作られるお米について興味をもって学ぶことができ、その後、みんなで協力してお米を炊き、おいしくいただきました。



【澤山さんはビデオも使って説明】



【おいしい豚丼を作る】

御影中学校

「認知症サポート講座」 「薬物乱用防止教室」

3月7日に「認知症サポート講座」、3月10日に「薬物乱用防止教室」を、それぞれ3年生を対象に行いました。清水旭山学園せせらぎ荘、新得警察署より講師をお招きし、毎年実施している講座です。

認知症サポート講座を終え、清水御影の地域においても、認知症の方がいらっしゃるということや、実際にどのように関わっていけば良いかなどを知ることができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。

また、認知症に対する正しい知識を得ることで、今後の活動の幅を広げていきたいと考える生徒が多くいました。



「認知症サポート講座」

薬物乱用防止教室では、「その時自分がつらくても、ちゃんと断ることができる判断力を失わないように気をつけ、きちんと考えて行動しようと思いました。」等、改めて、薬物乱用の恐ろしさについて再認識すると同時に、そのきっかけなどについても知識を深め、全ての生徒が「絶対に危険ドラッグは使用しない」と決意することができました。



「薬物乱用防止教室」

CS 委員会

学校と地域との意見交換を実施

本年度の第3回清水・御影 CS(コミュニティースクール)委員会が、3月4日御影公民館を会場に合同で開催されました。

CS 委員会は、地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度に基づくもので、清水町では6年目となります。

まず各こども園長及び学校長から「教育のデザイン(診断編)」を基に各こども園や学校経営の取組結果として、児童生徒や保護者及び職員・教職員から



のアンケートの考察結果の説明がされました。

続いて、町全体で進めています小中一貫教育の進捗状況と清水・御影の各地区推進委員会から活動報告がされ、児童会と生徒会との交流なども取り入れながら着実に進められていることの説明がされました。



その後、委員の意見交換として、しみず「教育の四季」の本年度の重点事項を振り返り、実現できたか、さらに深めるためには何をなすべきかなど、めざす子ども像に向け熱心に熟議したところです。

ボランティアなど普段の地域としての子ども達との関わりがあいさつの積極性につながっていることや、しみず「教育の四季の 12 の窓」のアップデートが必要ではないか、その際には子ども達の意見を取り入れることも大切ではないか、小中一貫教育を通して子どもたちの人格形成を図ってはどうか、など、様々な意見が出されました。

